



2015年10月号 第7号

CONTENTS

特集		若者7	たち	のボ	ラ	ン	ティ	ア
12/1	_			0) 13			_	

若い力で社会に貢献3~6
クローズアップ "人" 7
優しい街「熊本」を目指してー傾聴と人間学ー 菊池美保子さん(NPO法人傾聴ネットキーステーション理事長)
「くまもと・わくわく基金」からのお知らせ
・「くまもと・わくわく基金」平成26年度助成事業の成果レポート …8~14・「くまもと・わくわく基金」平成27年度助成事業団体紹介15~17・「くまもと・わくわく基金」寄附者のご紹介17
「NPO法人」なんでもQ&A18~19
NPO法人紹介 20
あいぽーと職員レポート 21
あいぽーと利用登録団体紹介 22~23
information24

認定NPO法人しらさぎの熊本城清掃作業の様子を 掲載しました。ロープやクレーンを使っての高所の作業や危険箇所を中心に除 草・清掃をされていました。 今回は雨が降る中での作業 でしたが、皆さん手際よく 作業をされていました。 毎年、熊本城と八代城址 の清掃活動を続けられてい



表紙写真紹介



い力で社会に貢献

持っているのでしょうか。熊本 連のイベント運営に携わった大 ティアについてどんな考えを 学生3人に話を聞きました。 市の夏の祭典・火の国まつり関 熊本の若者たちは、ボラン

ボランティア活動のきっかけ

良かった。

あったのですぐに応じました。タイミングも

大田黒 高校までやっていたソフトテニスなどのス 心も強くなったんです。 た。たまたま入ったのが、ボランティアクラ ポーツとは違うことをしたいと思っていまし ているうちに、ボランティア全体に対する関 ブだったのですが、サークルの運営に集中し 大学に入って、クラブ活動などで

> きっかけです。ボランティア活動にも関心が ア活動をしないか」と声をかけられたのが

がおられたのも幸いでした。 をしなければ」と思うようになったのがきっ を考えるうちに、「何かをすべき時だ」、「何か ですが、将来のことや希望している進路など 堤 2年生まではバイトに力を入れていたの かけでした。ボランティア活動に熱心な先輩



これまでどんな活動に

大田黒 サークル活動から始めて、具体的な

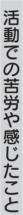
まったりしたこともあったころ、「ボランティ

他のサークル活動に関わって、行き詰

岡村 2年の時からラジオ番組のボランティのことができうれしいですね。 住民の方のイベント関係に参加しています。住民の方にちの結びつきが強く、地域に対する思いやたちの結びつきが強く、地域に対する思いや

堤 ゴミ拾いなどの清掃活動などにも参加しましたが、本格的にボランティア活動を始めましたが、本格的にボランティア活動を始めましたが、本格的にボランティア活動を始めたけの一部が現地の生産者などに還元され間とげの一部が現地の生産者などに還元され間とがなど有機農法の物が多く、食の安全という物など有機農法の物が多く、食の安全というとでも勉強になります。





大田黒 今回の火の国まつり関係のイベント大田黒 今回の火の国まつり関係のイベントり組んだのですが、半数ほどは初めて顔を合い切って、異なる複数の大学でチームを組むようにしてみました。養つかの大学が揃うと同じたり悩むことも随分ありますが、その分多くたり悩むことも随分ありますが、その分多くたり悩むことも随分ありますが、その分多くがランティア活動は、大きなプラスになってがランティア活動は、大きなプラスになっているし、今の自分の原点と言えるかもしれないと思っています。



岡村 ボランティアでは色んなことに関わることで、それまで思いもしなかったようなことの難しさを感じましたし、自分なりに学ぶことが変きたと思っています。他の大学の学生や社会人の方たちと知り合えたことも、自分の財産として力になったと思います。

は、ボランティア活動の意義が は、当日スタッフという簡単な手伝いのような参加でしたが、一緒に取り組んできた人 での頑張りが強く感じられました。来年は にちの頑張りが強く感じられました。来年は にちの頑張りが強く感じられました。 がず全期間活動に参加しようと思いました。 のよりが強く感じられました。 がず全期間活動に参加しようと思いました。 のよりが強く感じられました。 がず全期間活動に参加しようと思いました。 のよりが強く感じられました。 がず全期間活動に参加しようと思いました。 のよりが強く感じられました。 がず全期間活動に参加しようと思いました。 のよりが強く感じられました。 がず全期間活動に参加しようと思いました。 がず全期でしたが、一緒に取り組んでいました。 のよりが強く感じられました。 がず全期でしたが、一緒に取り組んでいました。 のよりが強く感じられました。 という簡単な手伝いのよりというできたが、 のよりが強く感じられました。 という簡単な手伝いのよりとないました。 というできた人 SIAFF MANE SPLASH 1015

◇出席者◇

▽岡村

大輔さん

熊本学園大学3年 熊本県立大学4年

▽大田黒

涼さん

後輩たちに伝えたいこと

逃すな」と言いたいですね。 あったら、絶対に参加した方がいい」「機会を は大きいと思う」「ボランティア活動の機会が ば、どんなことに取り組むにしても得るもの けてほしい」「自分自身にやる気と自覚があれ 大田黒 学内で仲間と一緒に、何かをして楽 しみたいという人が多い。「もっと外に目を向

他の大学の学生や社会人の方々とのつ

る財産だと思います。ボランティア関係の どのような時にでも役に立つ、自分の力にな でみたいと思っています。 サークルを紹介するような活動にも取り組ん ボランティア活動のおかげ。このつながりは ながりができ、多くの人と話ができるのは

アと聞いただけで尻込みしてしまう人も多い れないと思います。 それらは、ボランティアに参加しないと得ら 自分自身の世界が必ず広がる。その活動の中 ことで多くの人と知り合い、話をすることで でこそ経験できるものや得られるものも多い ような気がします。 ボランティアに取り組む 何をしていいのか分からず、ボランティ





祭り会場を早朝清掃 尚絅大の学生たち

8月9日、市民参加で行われた清掃作業には 火の国まつり・おてもやん総おどり翌日の



上学科



けで、 尚絅大学ボランティア支援センターの呼びか おどりの会場周辺を清掃しました。 同大学の学生十数人が初めて参加し総

です。 教授と一緒に参加した学生は、ほとんどが前 夜のおてもやん総おどりに参加していたそう ボランティア支援センター長の川﨑孝明准

め、ビニール袋に収めていました。 担当区域を歩き回り、ゴミを手際よく拾い集 短大部1年の松村いずみさんら学生たちは、

知り、何かを考える貴重な体験になったと思 今日は裏方として自分たちが踊った会場周辺 います。」と話されていました。 の後片付け。これまで気づかなかった行為を 川崎先生は、「前夜は踊りの主人公役を演じ

かった。 い会社に入るために必要だという気持ちが強 きました。ただ、上級学校に入るためや、い

●活動に参加した感想、将来は?

私も活動を続けていきたい。 に大きな意味があると思うようになりました。 相手に伝えるためにボランティアは続けます きて楽しかった。就職しても自分の気持ちを ちたいと参加する人が多い。いろいろ話がで 金 自分の利益のためでなく、何かの役に立 ボランティアに、今まで考えていた以上

韓国インターンシップ生に聞く

験学習に励んだ2人に、「ボランティア」につ いてインタビューしました。 で来熊、 2人は、日韓グローバルインターンシップ 金 熊本シティエフエムで2カ月余り体 大賢さん(2)=ソウル市 慧進さん(19) = 大邱市

●ボランティアに対する考えは

るべきことだと思うようになりました。 ティアを考え、意味や目標を調べるうちにや 以前は無関心でした。少しずつボラン 韓国でもずっとボランティア活動はして



写真左から黄さん、金さん

薊 を目指

菊池 美保子さん NPO法人傾聴ネットキーステ 理事長



平成21年 シガン大学で傾聴の基本と 州代表として、アメリカミ 心の支援に携わる団体の九 回想法の効果学等を学ぶ。 ステーション設立

平成17年

NPO法人傾聴ネットキー

ボランティアとして従事

平成3年

熊本市精神保健・心の電話

大正14年 プロフィール

中国大連市で出生

きたという菊池美保子さん。 -30年近くボランティア活動を続けて

継者づくりに忙しい日々を送る。 活動のモットーに、現在も傾聴の講演 ア活動に取り組む人たちへの指導、 会や養成講座などを通じ、ボランティ 優しさが伝わってくる。 菊池さんの話からは、生きる歓びと 優しい街「熊本」を目指して」を 後

です。いろんなことを思い出したり話 もつながると思っています。 ていますよ。」という姿勢が大事なん 可なあいづちは打たない。常に「聴い をしてもらう。それが認知症の予防に

「傾聴」との出会いが生きがいに、

を設立しました。 心の支援をしたいと8歳でNPO法人 動をしながら、渡米して傾聴の技術と 聴」との出会いが私の新しい生きがい アに行った際に、現地で学生ボラン 回想法などを学び、聴くことでできる になりました。東京でボランティア活 ティアの被災者への対応で知った「傾 いはできないかと熊本からボランティ 阪神・淡路大震災の時、 何かお手伝

すら傾聴すること。上の空ではダメ。 とは違うからですね。相手の話をひた 多いように感じます。傾聴は、話を聴 や高齢者の話をゆっくり聴いてくれる を言ったりはしない。カウンセリング くだけで話を引き出そうとしたり意見 ね。』とか言いながら大きく頷く。生半 『うーんそうだね。』とか、 『そうです へがいなくて寂しさを感じている人が 最近は、忙しい世の中になり子ども

聴くことで、人は聴いてもらっている 相手の心に寄り添いながらしっかり

> 思います。相手の話を上手に傾聴でき という安心感を覚えるのではないかと たときは嬉しいし優しい心になるんで

が出会った人に喜んでもらいたい。

聴も人生も奥が深い。次から次と想像 それが素直に嬉しいですね。だから続 顔で『ありがとう』と喜んでくれる。 から、「人間学」を勉強しています。傾 だ足りないことが多いから、去年の夏 いているのだと思います。でもまだま いた後、 か満足できないんです。 しては夢が膨らんでいくので、なかな 施設で高齢者の傾聴をさせていただ 帰り際に話してくれた人が笑

「人間学」は思いやりと感謝の心気

相手のためにしてやっていると思うの るのじゃないでしょうか。そこには、 と感じています いているという感謝の気持ちが大事だ ではなく、自分のためにさせていただ ると思うんですね。人間の本能と言え に役立ちたい」という気持ちが強くあ 人には「他人を思いやる」「人のため

熊本市市民公益活動支援基金 **くまもと・わくわく基金**

平成26年度 助成事業の成果レポート

平成26年度「くまもと・わくわく基金」では、熊本独自の地域課題解消に向けた事業として 分野指定助成事業に12事業、団体応援助成事業に2事業、スタートアップ助成事業に5事業 の合計19事業(19団体)に助成を行いました。

分野指定 助成事業

保健、医療又は福祉の増進を図る活動

くまもと歯っぴーかむカムひごまる協議会

- ●助成事業名 高齢者にもベロタッチ~口腔機能を維持して誤嚥と認知機能の低下を防ぐ~
- ●助成金額 19万円



乳幼児に対する口腔機能発達支援として、ベロタッチの普及を進めたところ、高齢者の口腔機能低下防止にも効果がある可能性が高まりました。 舌の機能を維持し、発語や嚥下機能の低下を防止することは認知症の防止にも有効ではないかという声を受けて、高齢者や高齢者施設等に配布できる冊子の作成と研修事業を行い、普及啓発を図ることができました。

具体的には、高齢者用のベロタッチ説明書作成会議を6回、研修会を4回、地域高齢者の集まりや施設でベロタッチを実践し、効果検証を行いました。また、説明書を関係施設等へ配布し普及啓発に努めました。

NPO法人 成年後見安心サポートネット熊本

- ●助成事業名 成年後見無料相談事業ならびに広報啓発事業
- ●助成金額 20万円



高齢者や障がい者で低所得者の無料相談を行い、社会的弱者といわれる 方々の権利、また、判断能力が不十分となった高齢者や障がい者の方々の 生活を守り、人権を擁護することを目的に、成年後見無料相談会並びに出 張無料相談会を「ウェルパル・あいぽーと」、「高齢者施設あいこう」にて 合計23回開催しました。また、福祉施設へのチラシ配布や新聞広告など により、事務所への問い合わせや相談件数も増えており、成年後見制度の 周知も徐々に広がっています。

妊娠・出産・子育で情報ネットワークうみ・つき

- ●助成事業名 心と体の癒し方・治し方講座
- ●助成金額 25万円



妊娠・出産・子育でをする母親を対象にセルフケアを学ぶ活動を行ってきました。もっと深く学びたいと助産師、保健師、教職員、医療従事者、セラピストなど専門職の方が受講し、実践的な技術と知識を身につけそれぞれが現場にて活かすことができ、熊本市民が心身ともに健やかで幸せな日常を過ごすためのサポートを行いました。予防医学的な側面から、経済負担となっている医療費の削減につながることができると思われます。

分野指定 助成事業

生涯学習・子どもの健全育成を図る活動

特定非営利活動法人 子ども夢工房

- 助成事業名 親子でつくる「親守詩教室」と日本の伝統文化にふれる「子ども百人一首教室」
- ●助成金額 18万円



「親守詩」を親子でつくったり、「百人一首」を体験したりする事業を通して、参加者の親子の絆を深め、日本の伝統文化にふれることを目的に、「第2回親守詩熊本県大会」、「第11回五色百人一首熊本市大会」、「子ども親守詩・五色百人一首教室」を実施し、子から親へ、親から子へメッセージを送り合い、親子の絆を深めることができました。また、「親子の絆を深めること」、「日本の伝統文化にふれること」のため、熊本市民に向けた新聞を作成し、「親守詩」の周知に努めました。

特定非営利活動法人 熊本子ども囲碁普及会

- ●助成事業名 児童クラブにおける囲碁普及モデル事業
- **助 成 金 額** 21万4千円



学童の育成に囲碁普及で寄与したいと考え、モデル校での活動を通じて「役に立つ囲碁」を知ってもらい、ネットワーク創りにつなげることを目的に、熊本市の向山小、白川小、清水小、桜木小、飽田南小、託麻原小、尾ノ上小の7小学校で囲碁のルール、石のとり方、逃げ方や勝負の決め方などを指導し、囲碁の楽しさを知る子どもを増やすことができました。この囲碁普及活動により、囲碁の効用や当団体の存在が知られるようになり、また、熊本市の教育委員会を通じて市内の75小学校に「熊本子ども囲碁便り」を配布し、ネットワーク創りを図りました。

NPO法人 熊本どんぐり

- ●助成事業名 生活困窮状態にある人を支援する事業
- ●助成金額 10万円



当法人は、自他共に社会的なハンディを背負い、そのために生活困窮状態に陥りやすい人々を一市民として、生活を営むことができるように支援し、再犯防止を目指すとともに、その生活困窮状態は世代間に連鎖する傾向が認められるので、困窮家庭の児童へ学習支援を行い、貧困の連鎖を防ぎました。

具体的には、小学4年生から中学3年生までを対象に、大学生のボランティアによる学習支援事業を98回実施するとともに、農業体験、調理実習の体験学習を実施しました。

分野指定 助成事業

環境の保全を図る活動

認定NPO法人 しらさぎ

- ●助成事業名 熊本城石垣除草・清掃ボランティア活動
- ●助成金額 15万8千円



歴史と文化の象徴でもある熊本城。その特徴の石垣美を保全する意味から独自で除草清掃活動を行っています。この活動は、案内した各学校や職場でも盛んに取り組んでおられます。高所作業箇所以外は誰でも参加できる活動をPRすることで市民の皆さんにも浸透し、協働作業がますます普及することが期待できます。総勢229名参加された石垣除草や城内清掃で収集作業の成果は大型ビニール袋80袋(400kg)になりました。環境保全活動が町づくりの一環として役立てることができました。

分野指定 助成事業

文化・芸術・スポーツ・国際協力の振興を図る活動

特定非営利活動法人 武田流流鏑馬保存会

- ●助成事業名 伝統文化の保存及び振興・子どもの健全育成を図る推進事業
- ●助成金額 10万円



熊本県重要無形文化財である武田流騎射流鏑馬を郷土の文化として、後世に継承するため、若手後継者の一助となるよう「やぶさめ少年塾」を実施しました。「やぶさめ少年塾」は、一般公募した小学4年生から中学2年生までの16人(8期生)を対象に、武田流流鏑馬の歴史、日常生活での作法・礼法、弓道の基本、乗馬体験、木馬を使った騎射について、計14回の稽古を通して指導を行いました。また、ポスターやチラシを印刷配布、新聞広告の掲載などにより、平成27年度9期生の募集活動を行いました。

やぶさめの精神である「天下泰平、万民息災、五穀豊穣」の考え方をはじめ、熊本市の伝承文化を子どもとその保護者に紹介することで理解者を拡大し、稽古や講義を通し友達と仲良くすること、礼節を重んじること、食べ物を大事にすることなど、礼儀作法や教養が身につき、子どもの健全育成の一助となりました。

分野指定 助成事業

まちづくりや地域安全の推進を図る活動

- ●助成事業名 産後リハビリテーション概念普及による生活の質(OOL)向上への取り組み
- ●助成金額 10万円



産前より母親側のケアを充実させることで、母親の不安や悩みを軽減し 心身ともに安定した状態で子育てが行えるような対策が急務であると考え、 年6回の講習会を軸にした一般及び医療従事者への産前産後リハビリテー ション概念の発信、推進を図りました。このように生活の質(QOL)向上 へと繋がり、女性が過ごしやすい生活環境を整えるべく活動を行いました。

NPO法人 龍田共育ネットワーク

- ●助成事業名 自治協議会とNPOが協働する校区コミュニティカレンダーでまちづくり推進
- ●助成金額 45万円



熊本市が政令市となり、各区や各校区が新たなまちづくりを模索しながら進めていますが、そのためにはまちづくりの中心的な役割を担う自治会や各種団体が連携し、地域住民がコミュニケーションを図りながら生活に必要な情報を共有する事が大切です。そこで熊本県内で最も児童数が多い龍田校区をモデルケースとし、町内自治会やPTA、各種団体が情報交換しながらまちづくりを推進するために、コミュニティカレンダーづくりを行いました。具体的には、コミュニティカレンダーのテンプレートや資料作成等についての会議・説明会を計11回開催しました。作成に当たり、地域の自治会はじめ各種団体の様々な課題も認識でき、同カレンダーの様々な行事の日程調整や内容の認識を深めるなどの効果がありました。

白山校区社会福祉協議会

- ●助成事業名 「つながろう白山 みんなで元気」健康まちづくりへの取り組み
- ●助成金額 11万円



今回の事業は多くの校区団体や事業所、行政の協力を得て開催されました。朝の部はわくわくウォーキング、昼の部は健康づくり無料体験コーナーなど、保育園児から80歳以上の方まで幅広く参加者が集まりました。幅広い年代の方々がウォーキングを行なったり、健康コーナーに参加されたりしたことで、個人の健康について地域全体で健康を考えていこうという意識の向上にもつながりました。今まで関心の薄かった保護者世代からも参加を得、多くの住民がイベントに参加したことで、皆で一緒に楽しみながら健康への意識向上が図れました。

NPO法人 日本防災士会·熊本県支部

- ●助成事業名 地域市民とNPOとのコラボDE安全安心なまちづくりの巡回出前講座
- ●助成金額 22万円



日本防災士会・熊本県支部は防災士の有志で構成するネットワークであり、地域市民に密着した"自助""共助""公助"を活動指針とし、各種災害時には、いち早く現地に赴き被災者支援・被害地支援及び復興支援活動を行います。今年度、市内各地に出向き災害図上訓練(DIG)や避難所運営ゲーム(HUG)の巡回出前講座を開催し、幅広い防災啓発活動を通じて、団体、企業、自治体や自主防災クラブ又は町内自治会と密に連携し、地域の安全安心の実現に努め、地域防災力の向上を図りました。

団体応援 助成事業

くまもと発達支援親の会「めだか」

- ●助成事業名 発達障がいの子どもたちの感覚統合「クリスマス会」
- ●助成金額 5万円



子どもたちの中には、外からの感覚刺激を上手に整理することが難しく情報が混乱する子どもがいます。この状態をできるだけスムーズになるよう運動で働きかけることを感覚統合といいます。年に一度のクリスマス会は大規模な感覚統合ゲームで、子どもたちの達成感や喜びは格別でしたと参加の保護者からは多くの声を頂きました。子どもたちは物的及び人的補助に守られて、おもいっきり体を動かして多くの感覚や成功を体験できました。また療育に携わっておられる先生方、福祉や教職を勉強中の学生さんと保護者との交流を図り学校や家庭でも応用できるよう学びました。

NPO法人 ル・シエルくまもと

- 助成事業名 コミュニケーションにも必要な声の出し方を正しく学ぶ事業
- ●助成金額 10万円



声を出すことにより必要な筋肉の使い方や呼吸法を身につけることで心身の活発化をめざすとともに、明瞭な発音を習得することによりコミュニケーションスキルを身につけることを目的に、声優の神谷明さんを招いて、体を使ったボイストレーニングの体験会を開催しました。また、熊本在住のボイストレーナーによる入門編講座と、トレーニング後のコーラス練習を3回実施しました。参加者のほとんどがボイストレーニングは初めてであり、「声を出す」「発声する」という仕組みを学び、普段とは違う声を出す経験ができ、一人ではできないが一緒に大声を出す体験を楽しむことができました。

スタートアップ 助成事業

上熊本商栄会青年部

- ●助成事業名 歴史が息づくまちづくり推進事業
- 助成金額 10万円



上熊本は熊本の中心街に隣接し、市電、JR、熊本電鉄、バス等々、交通の便がよく、また、夏目漱石や小泉八雲などの文豪にゆかりのある歴史が息づくまちであり、「森の都くまもと」の名言の発祥の駅「上熊本駅」などの観光資源を活かし薄れつつあるまちの活気を取り戻すために次の事業を行いました。

1. 上熊本駅前の夏目漱石像に着せるスーツ、和服の作成

上熊本駅前にある夏目漱石像にスーツと和服を作成し着せることで話題性を持たせ、これを起点に上熊本駅や、わが輩通り、京町、新坂、坪井旧居などの熊本市及び上熊本界隈の観光資源のPRを行いました。

2. 上熊本界隈の散策マップ作成

上熊本界隈の散策マップ1000部を作成して、上熊本界隈の店舗や観光案内所、漱石ゆかりの名所へ配布し、上熊本駅や、わが輩通り、京町、新坂、坪井旧居などへの回遊性の向上を図りました。

この事業を行ったことで、上熊本界隈をはじめとする夏目漱石ゆかりの地への観光客の増加や「森の都くまもと」の愛称の周知強化が見込め、来る夏目漱石記念年(来熊120年、生誕150年)に向け熊本市の観光、文化の振興へ寄与できたものと考えます。

Human Life Support of MUSIC BAND 絆 ボランティア会

- ●助成事業名 生バンド演奏による高齢者福祉施設に対する音楽出前ミニコンサート活動事業(熊本市内)
- ●助成金額 10万円



熊本市内の高齢者施設にて60回開催した音楽出前ミニコンサートにおいて、高齢者福祉施設を利用されている高齢者の皆様方に、あまり見たことのない音響機材や楽器、その設営などを直に見てもらい楽しんで頂くとともに、高齢者の方々にとっては出かける機会が少なくなったコンサートに出かけた気分になってもらい、若かりし頃に聞いたクオリティーの高い昭和歌謡や季節の童謡を聞いてもらうことにより、楽しかった思い出など昔を振り返り楽しんでいただきました。また、団体のパンフレット及びポスターを作成し、高齢者福祉施設に配布することで、より多くの熊本市民の皆様方に周知することができました。

発達障がいの架け橋 にじのポンテ

- ●助成事業名 発達障がい者・支援者応援セミナー
- ●助成金額 10万円



現在、発達障がいが社会的にクローズアップされていますが、まだ認知度が低いのが現状であり、多くの方に発達障がいのことを知っていただき、発達障がい児を持つ家族の方や支援者等、同じ境遇の方を励ましたいとの思いで、今年度「男女共同参画センターはあもにい」にて2回、「熊本市市民活動支援センターあいぽーと」にて2回、合計4回の講演会事業を実施し、合計111名の参加をいただきました。参加者からのアンケートでも共感を得られた方々が多く、発達障がいへの理解が深まりました。

ボランティアグループ「熊本のおもちゃ病院」

- ●助成事業名 「治療代」は子どもの笑顔の「おもちゃ病院」
- ●助成金額 7万9千円



壊れたおもちゃをボランティアで修理する「おもちゃ病院」を、常設会場などで開催することで、子どもに物を大事にする心や科学技術への関心を持ってもらい、また、これまでに培った知識技術を子どもとのふれあいに活かせることでメンバーの生きがいや老化防止につながりました。

平成26年度「おもちゃ病院」を3か所の常設会場で25回、要請されて参加したイベントで3回、合計28回開催し、306件の修理依頼を受けました。毎月の活動やメディアでの活動紹介により、「おもちゃ病院」の認知が進んだことが修理依頼数の増加につながり、メンバーの増員も図ることができました。

がんばりっこ仲間・熊本

- ●助成事業名 がんばりっこ仲間・熊本
- ●助成金額 10万円



保健師や病院、療育関係者、行政の関係者が連携し、未熟児・障がい児・病児の親と応援団が出会えるイベントを開催しました。専門職の方や親同士の情報交換や相談ができ、子育でに関する知識と技術を向上し、母親自身が活躍できる場を作り、子育でで孤立しがちな状況を解消するため地域や社会とのつながりが持てるよう支援しました。このような支援の必要性をホームページやフェイスブック等で熊本から全国に発信し、大きな反響を得ることができました。

平成26年度 助成事業 事業報告&交流会 ~"1分間で、相手のハートをぐっとつかむコツ"~

「くまもと・わくわく基金」の寄附者や基金助成団体をはじめとした市民活動団体、行政職員が一堂に会して交流することで、基金や市民公益活動への理解と協力を広げることを目的として、5月12日に「平成26年度 助成事業 事業報告&交流会」を実施しました。その中で、より効率的に自分たちの活動を知ってもらい、参加した方々がいろいろな団体の取り組みを知るだけでなく、自分たち自身が勉強になるようなワークショップ等を実施し、各団体との交流を図りました。







ワークショップでは、まず、アイスブレイクとして参加者の気持ちをほぐすために隣の方と二人一組で向かい合い、ゲームに取り組みました。ゲームは、それぞれが情報を伝える人と伝えられた情報から絵を描く人となり、伝える側は言葉だけでホワイトボードに描かれた絵の内容を伝え、描く側は伝えられた情報だけで絵を描くものです。相手に的確に情報を伝えることの難しさを学びました。続いて、1分間に話をまとめる練習として、自分たちの団体の活動内容を1分間で紹介する訓練を行いました(エレベータトーク)。最後に現在、過去、未来の位置づけで、団体の活動の振り返りやこれからの展望を整理し、相手に伝える訓練を行いました(タイムラインコーチング)。







今回のワークショップの取り組みを踏まえ、平成26年度助成団体の事業報告を、各団体1分間を目安に 実施してもらいました。ワークショップを実践しての事業報告だけに、簡潔で明瞭な表現を工夫した事業報 告が多くみられました。

平成27年度「くまもと・わくわく基金」助成団体が決まりました!

平成27年度「くまもと・わくわく基金」には、21事業の応募があり、その中から、分野指定助成事業として9事業、スタートアップ助成事業として3事業、団体応援助成事業として1事業の合計13事業(13団体)の助成が決まりました。各助成事業の概要を紹介します。

分野指定 助成事業

保健、医療又は福祉の増進を図る活動

NPO法人 熊本わくわく体操ボランティア協会

●助成事業名 わくわく体操を実施して地域の健康づくり、活性化を図る事業



まだ施設のデイサービス利用や入所するには少し早いなど、躊躇されている一人住いの高齢者の方々に、 地域の公民館やコミュニティセンターに集まっていただき、わくわく体操や椅子に座ってできる健康体操・ ゲーム・歌などで身体を動かし、健康づくり・活性化を図る事業を行います。

NPO法人 でんでん虫の会

●助成事業名 ひとり暮らしの「居場所づくり」事業



身寄りのないひとり暮らしの方や障がい者、ひとり親、生活困窮者などの「居場所」として、おしゃべり会や交流会を開催し、お互いに支えあい、生きがいを見出し、孤独死を予防し、安心して暮らせる地域づくりに寄与します。更に、生活力を高めるための「居場所」として、学習会や講演会を実施します。

NPO法人 成年後見安心サポートネット熊本

●助成事業名 成年後見無料相談事業ならびに広報啓発事業



高齢者・障がい者の福祉の向上を図る活動を通じて地域後見を推進し、判断能力が不十分となった高齢者や、障がい者の方々の生活と人権を守ることを目的とした成年後見制度の普及促進を図ります。具体的には、高齢者や知的・精神障がい者の方々に成年後見無料相談会を開催し、法律や社会福祉制度の利用を支援します。また、成年後見制度説明会や出張無料相談会を開催します。

Human Life Support of MUSIC BAND 絆ボランティア会

●助成事業名 生バンド演奏による高齢者福祉施設に対する音楽出前ミニコンサート活動事業(熊本市内)



高齢者施設を利用されている皆様に、音響機材や楽器設営の様子を見てもらい、音楽講師またはプロミュージシャンによる季節の童謡や昭和歌謡を聴いていただいて、コンサートに出掛けた気分を楽しんでいただきます。また、歌がリリースされた当時の写真の投影や熊本の歌を織り交ぜることで、熊本の良いところを振り返ってもらい、楽器を使って音楽と一緒にリズムを取ることを盛り込み、身体機能の強化を図ります。この事業を通じて、数人の所属会員が持ち合わせる障がいと共に生きる姿勢を見ていただき、障がいに対する理解も合わせて求めていきます。

NPO法人 スポレク・エイト

●助成事業名 □コトレ健康教室で健康で長生き



平成26年度から、ロコモシンドロームにならないための指導者講習会を進めており、今回、西部地域の皆様を対象に「西部地域の交流を深め、健康で生きがいのあるまちづくり」の理念の下、指先体操やストレッチなど、楽しく笑いを交えた「ロコトレ健康体操」を行います。皆様が「参加して良かった。」と思えるような活動にしていきます。遠方のため参加できない町内には、出張サービスも行います。

分野指定 助成事業

環境の保全を図る活動

熊本の大気汚染を考える会

●助成事業名 熊本の大気汚染測定運動を通して郷土の環境保全を図る活動



大気汚染測定運動東京連絡会の協力を得ながら、夏·冬の年2回大気汚染測定を実施して、測定結果をまとめたパネル展示や講演会を実施してきました。この事業で「熊本の大気汚染測定運動を通して郷土の環境保全を図る活動」に積極的に取り組み、「環境にやさしい生活」を心がける市民を増やすと共に、会員並びに運営委員の増員に努めます。

分野指定 助成事業

まちづくりや地域安全の推進を図る活動

NPO法人 日本防災士会·熊本県支部

●助成事業名 地域市民とNPOとのコラボDEまちづくり防災出前講座



災害図上ゲーム (DIG) や避難所運営ゲーム (HUG) を、地域住民や自治体、小学生たちに定期的に実施し、防災・減災活動を通じて、社会貢献や幅広い防災啓発活動を積極的に行い、地域の安全・安心の実現に努めます。更に、突然発生する自然災害の予備知識ゲーム (Crossroad) を、各地域に呼び掛け実施します。また、災害が突然発生した時に備えて、「おはしも用語」を身に付け、市民の人々の心に届く防災士として「押さない! 走らない! しゃべらない! 戻らない! 」の積極的な避難行動を行い、自然災害から被災者を守るように努めます。

分野指定 助成事業

生涯学習・子どもの健全育成を図る活動

特定非営利活動法人 子ども夢工房

●助成事業名 日本の伝統文化にふれる「五色百人一首教室」



熊本市の子どもたちに、1000年も続く日本の伝統文化である「百人一首」に親しませるため、百人一首よりも取り組みやすい、100枚の札を20枚ずつ五色に分けた「五色百人一首」を使った取り組みを行っています。この「五色百人一首大会」を、これまで11年にわたり開催しています。熊本市の子どもたちを集めての「五色百人一首教室」も併せて実施します。

ジェンヌ Kumamoto

●助成事業名 保活コンシェルジュくまもと2015



本事業では、認可・無認可にかかわらず、熊本市内のあらゆる形態の園・保育施設(事業所)の取材と調査を行い、保活に必要なデータを取りまとめた冊子を作成します。また、「保活」(保育所入所活動)に関係する親たちに向けた支援となるイベントを開催し、冊子の配布と共に、親たちのコミュニケーションや情報交換ができる場を提供します。

スタートアップ **助成事業**

特定非営利活動法人 優里の会

●助成事業名 里親制度の普及啓発と児童の福祉を考えるための講演会



社会的養護が必要な子どもたちのために、どのような手立てが適切かをより多くの市民に普及啓発し、共に研鑽を行います。また、当法人の存在と活動内容を、より多くの市民に知ってもらうことで、里親制度の普及啓発に寄与したいと思います。

ボランティアグループ「笑顔のたまて箱」



●助成事業名 わくわく人形劇公演事業

子どもたちの笑顔があふれた社会になることを願い、人形劇活動などを開始しましたが、人形劇のレパートリーがまだ少なく、十分に楽しんでいただいていない現状です。そこで、この事業をきっかけに、新しいテーマ(人権)の人形劇を制作し、完成した人形劇を熊本市内の多くの子どもたちに見ていただき、子どもを見守る支援のネットワークや保護者同士の繋がりづくりに努めます。

ダイエットサークル からだデザイン

●助成事業名 子育てママの元気を応援!正しい健康管理法(diet)の普及活動



毎月1~2回集まり、体重測定、運動、生活習慣関連の勉強会を行います。各々のカルテを作成し、ダイエットトレーナーに毎回カウンセリングを受けてもらいます。毎回、見守り託児を付けることで、未就園児を育児中の母親も参加しやすいようにしています。その他、フェイスブックを利用し、近況報告や情報交換を行い、ダイエット本をシェアし合うことで、モチベーションを保つ工夫をしています。最近は、子連れでも参加できるエクササイズの場も増えていますが、体重管理やアドバイスの提供など、総合的にフォローするサークルは少なく、そのような場を作りたいと考えています。

団体応援 助成事業

ボランティアグループ「熊本のおもちゃ病院」

●助成事業名 「治療代」は子どもの笑顔の「おもちゃ病院」



壊れたおもちゃの修理・再生を通じて、子どもとその親たちに物の大切さを考え、修理の過程では、科学に対する関心を高めてもらう活動を行います。参加するドクターには、これまで培ってきた知識・技術を活かせることや、子どもたちとの新たなふれあいによって、生きがいや居場所づくり、老化防止になるような病院の事業です。

熊本市市民公益活動支援基金 **くまもと・わくわく基金**

「くまもと・わくわく基金」へのご協力に感謝し、 心より御礼申し上げます。

熊本市民の皆さま、法人・団体等の皆さまからご寄附をいただき、平成27年8月31日現在、その寄附額は、9,218,893円となっております。ご協力に厚く御礼申し上げます。

今号では、平成27年1月1日から平成27年8月31日の間にご寄附をいただきました皆さまへ感謝の意を込め、以下にご芳名を掲載させていただきます。皆さまのさらなるご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

★OA通信サービス 株式会社 様ご要望により非公開
★秋津公民館気功太極拳講座 様ご要望により非公開
★株式会社 お菓子の香梅 様ご要望により非公開
★株式会社 熊本市リサイクル事業センター 様······7,472円
★株式会社 パスート24 様73,031円
★株式会社 パブリックビジネスジャパン 様28,884円
★株式会社 宮食 様4,471円
★清田 光治 様 ··································
★熊本新明産業 株式会社 様ご要望により非公開
★熊本大同青果 株式会社 様ご要望により非公開
★大東建託株式会社 熊本北支店 様39,334円
★田上アクト共同企業体 様
★はっぴー整体院 喰田 幸子 様ご要望により非公開
★未来環境 有限会社 様100,000円
★有限会社 石翔 様······で要望により非公開
★有限会社 オー・エス収集センター 様ご要望により非公開

※その他、掲載を希望されなかった方 33名

寄附をお考えの方

「くまもと・わくわく基金」への寄附には、市民協働課窓口へ直接寄附金をお持ちいただく方法と、事前に必要事項を記入した「寄附申出書」を市民協働課へ送っていただき、その後返送された「納付書」をもって金融機関にて寄附金をご入金いただく方法があります。他にも熊本市役所庁舎1階に募金箱を設置しております。寄附額に制限はありませんが、2,000円以上ですと、地方公共団体に対する寄附として「ふるさと納税」扱いとなり、税制上の優遇措置を受けることができます。寄附のお申し込みやお問い合わせ、ご不明な点等は、お気軽にあいぽーとまでご連絡ください。

あいぽーと TEL: 096-366-0168

ホームページ http://www.kumamoto-aiport/kumamoto_wakuwaku/



〇」と「NPO法人」の違いは?

営利性とはどういう意味なの? Q2 NPO法人の公益性と非

A2 「公益性」とは、「不特定かつ多数の人に求められる重要な要素です。 人に求められる重要な要素です。

また、「非営利性」とは、「利益を構成員(役員、社員等)に分配してはならない」という意味です。NPO法人には「非営利性」のある事業を行う以上、目的達成のためにはある事業を行う以上、目的達成のためにはある事業を行う以上、目的達成のためには利益を上げ法人が存続し続ける必要があります。ただし、その利益はすべて特定非営利性」の利益のに係る事業に充てなければなりません。



Cとで得るメリットは? O3 NPO法人格を取得する

A3 主なメリットには次のようなものが

- 容易になります。がります。また、代表者の交代などがの。また、代表者の交代などが
- を得ることができます。 性が求められることから、社会的信用 積極的な情報公開が義務付けられ透明 の 法令や定款に基づいて法人を運営し
- なります。 不動産登記や銀行口座の開設が可能と 不動産登記や銀行口座の開設が可能と
- 達の手段が広がります。
 費や寄付金、助成金申請など、資金調の社会的信用が高まることにより、会

様々な質問が数多く寄せられています。そこで今回は、NPO法人設立説明会等で多く聞かれる 市民活動支援センター・あいぽーとには、日頃から、市民活動やNPO・NPO法人などについて なんでも0&

設立に関する質問を集めてみました。

設立の



Q 4 ことで生じる義務は? NPO法人格を取得する

A 4 主な義務は、 次のようなものがあり

- けません。 の入会に対し不当な条件を付けてはい 利益の分配ができないことや、正会員 法令や定款による制約を受けます。
- 2 3 類の提出が義務付けられています。 法人の運営や活動についての情報公 所轄庁への事業報告書等、様々な書
- 4 は、法務局へ変更登記の手続きが必要 下の過料を科されることがあります。 となります。怠った場合は、20万円以 法人登記の内容に変更があった場合

開が義務付けられます。

告や加入が義務付けられます 法律に基づいた税務・労務などの由

件で必要なことは? NPO法人を設立する要

件を満たしていなければなりません。 А 5 NPO法人になるためには、 次の要

- 1 NPO活動(指定された2種類の活 を行うことを主たる目的とするこ
- 3 2 (利益を役員や社員で分配しないこと) (原則、 営利を目的としないものであること。 原則、 誰でも受け入れる必要があり 入会条件を設けてはいけない
- 4 役員総数の3分の1以下であること。 役員のうち報酬を受ける者の数が、

ます。)

- (5) するものでないこと。 宗教活動や政治活動を主たる目的と
- 6 的とするものでないこと。 政党を推薦、支持、反対することを目 特定の公職者(候補者を含む) 又は
- والمالي る団体でないこと。 10人以上の社員を有するものである 暴力団やその構成員等の統制下にあ

設立の

要件は?

助成金とかもらえるの? てどうしてるの? 設立したらQ6 NPO法人の活動資金っ

A6 NPO法人の収入として多いのは次 の3つです

らといって、必ずもらえるとは限りません。 利益は、 りません。また、助成金や補助金の手続き ものなので黒字になることは何の問題もあ のために、NPO活動(非営利性)に使う は法人が自主的に行いますが、申請したか 「会費」「寄附金」「事業収益」。そこで得た ②物品販売などで得た事業収益 なかでも自己資金として当てになるのは ③県・市などからの助成金や委託金 ①会員からの会費や寄附金 さらに社会全体の利益(公益性

援をしていきたいと思います。 自主性のある市民公益活動が広がることを まもとをもっと良くしたい」との自発的で ♥皆さんいかがでしたか? 少しはご理解 心から願い、あいぽーともできる限りの支 いただけましたか? 市民の皆さんの「く

活 動

なんでんかんでんしますよ NPO法人 でんでん虫の会

り会が始まります。 とに20人前後の会員たちが集まり、おしゃべ ているでんでん虫の会。定期的に、あいぽー 「1人暮らしを支えあう」を活動目標とし

好きな夏の食べ物は…です」などと、近況を 「きょうは、こんなことをしました」「私の





船本満幸さん(写真上右)事務局長の吉松裕 ます。書き込みから話が発展することもしば 藏さん (同上左) ら中心会員5人が司会を務 語り合う声が楽しそうに響きます。理事長の しばあります。 め、発言をホワイトボードに書き込んでいき

h ますから、でんでん虫なんですよ」と吉松さ 世話など。「なんでんかんでん(何もかも)し 活動は他に相談業務や食事訪問、ペットの

星空を眺めるのが楽

特定非営利活動法人 熊本県民天文台

7月下旬、武蔵ケ丘コミュニティセンター

連れや天文愛好家など多数が参加しました。 が出るなど、会場は楽しい雰囲気でした。 も素敵」などと歓声を上げていました。「月に で観察した人たちは、「きれいだねー」「とて であった熊本県民天文台の観察会には、 ウサギはいないのですか」と幼児からの質問 見事に半分の形になった上弦の月を望遠鏡

昭和57年に、 ちの同好会「熊本天文研究会」として発足。 て全国でも珍しい一般公開の天文台を開設さ 熊本県民天文台はアマチュア天文愛好家た 同好会組織のまま募金集めをし

> けられました。 れ、平成15年にNPO法人としての認証を受

と話しておられました。 緒に眺め、解説するのが楽しいから始め、楽 が続いている秘訣について、「星空や宇宙を一 しいからずっと続いている、それだけです_ 理事長の艶島敬昭さんは、30年余りも活動



支援センターの活動充実へ学習と情報交換 NPO支援センター初任者研修に参加して

り巻く環境の変化と NPO支援センター は 講義 「 N P O を 取 2日間の研修初日

> ターの特徴」の発表、2日目は ループワークなどを行いました。

行われたNPO支援

あいぽーとスタッ

会に参加し、支援セ

ノターの実情や役割

センター初任者研修

などを学びました。

市民活動センター)や「防災ボランティア養 災と郷土学習を取り入れた活動 は、「防災の取り組み」や「あんしん住み替 をされていました。「防災かるた」を作成し防 も半数以上が「防災」に取り組む団体の紹介 え」事業を紹介しました。他センターの中で を挙げている団体の事業として、あいぽーと (静岡市番町

センターの役割について改めて考える」グ に求められる役割」、ワーク「自組織支援セン 「NPO支援

自組織の地域課題に対して、具体的な成果 る立場にある人は、

ありました。 成講座」(宮崎市民活動支援センター)などが

に努めていることを報告しました。 方法を挙げ、ラジオ局からの発信を始めとす る様々な広報展開や機会をとらえ、情報発信 あいぽーとの特徴として、 情報収集と発信

〇センターの新田さんのお話の中で、「支援す い」と「地域課題を把握することが、NPO 主催された認定特定非営利活動法人日本NP 方々との情報交換も大きな収穫となりました 今回各地の様々な形態の支援センターの の支援につながる」ことをお まず現場を知ってくださ

話しされていました。地域の 中間支援組織としてサポート 課題を把握し、あいぽーとが に努めなければならないと痛

(あいぼーと





あいぽーと登録団体が元気に活動

熊本健康友の会 (KKA)

熊本健康友の会は、昭和54年、熊本市が健康都市宣言を発表した直後に、創設されました。当初から指導を続けている高橋八重子さんは、今年米寿を迎えてあいぽーとでは参加者に元気よく指導されています。

会員は50人。最高齢者は、来年2月に満100歳 という吉本そよさん。「皆さんのおかげで楽しく活動 させていただいております」。

あいぽーとで毎月3回活動中。



日本太極柔力球熊本県協会



1991年に中国で創案された、太極拳の要素を取り入れた球技。「日本では、東京と熊本で同時に始まりました。太極拳の円運動の要素が取り入れられています。ラケットでたたくのではなく、円の動きの中に衝撃を吸収するのがコツ。健康で楽しく、自分の体に合った運動ができます」(事務局長で創立メンバーの浅山泰夫さん)。

あいぽーとで毎月1回活動中。

あつばれ座

南京玉すだれ、銭太鼓、ひょっとこ、フラダンス、紙芝居など、年間40回余りの公演や施設慰問を行っています。今年で17年目。「おかげさまで、あちこちから声をかけていただけるようになりました。純粋に見て楽しんでいただくのが、私たちの最高の喜び」と、会長の天野有子さん。

あいぽーとでは毎月2回活動中。



あいぽーと登録団体が元気に活動

新老人の会熊本支部・スポーツ吹き矢

長さ1.2粒の筒に20髪の矢、最大で10粒先の的 を狙い吹き。的は中心の7点から外側へ5、3、1 点の同心円。1回の試技で5本吹き、合計点を競い ます。「始めてから1年半。楽しんでやっていますよ。 気持ちを落ち着け、的に集中しないと、必ずと言っ ていいほど外してしまう」と續正さん。精神統一と 腹式呼吸、健康に良さそうです。

あいぽーとで毎月4回活動中。



太極拳を楽しもう会



創立2年目の若々しい団体。「元は別のサー クル活動をして楽しんでいた仲間が、私の兄 (現指導者の宮永忠男さん) が指導できる、と 聞いて太極拳も楽しもうよ、となったの」と作 田トキ子さん。30人の会員のうち20人前後が 毎月2回あいぽーとで活動中、ゆっくりと滑 らかな太極拳独特の動きに合わせ、楽しそう に心地よい汗を流しています。

熊本市市民活動支援センター・あいぽーと

住所

◆ 熊本市中央区大江5丁目1-1 ウェルパルくまもと1階

• 096-366-0168 電話

aiport kumamoto city@joy.ocn.ne.jp

開館時間 ◆ 午前8時30分~午後9時 休館日

◆ 毎月第2木曜および年末年始

アクセス ◆ 電車・バス「交通局前」、市道(産業道路)バス「森都病院前」

http://www.kumamoto-aiport.com

eyes(あいず) 10月号 2015年10月発行 受託者 株式会社熊本シティエフエム

発行所 熊本市市民活動支援センター・あいぽーと

〒862-0971 熊本県熊本市中央区大江5丁目1-1 ウェルパルくまもと1階

TEL: 096-366-0168

印刷所 株式会社城野印刷所



本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

information⁶



■あいぽーと文化祭

熊本市内を拠点に活動しているあいぽーと 利用登録団体の日頃の活動成果を発表する 「あいぽーと文化祭」を今年も開催します! オープニングアクトでは、可愛いゲストも遊 びに来てくれますよ♪

● 日時 平成27年11月15日(日)

10:00~16:00



写真は昨年の文化祭開催風景

■あいぽーとボランティアDAY

あいぽーとボランティアDAYは、ボランティアに興味のある方が集まって交流を深めていただく日です。

●日時

10月10日(土) 14:00~16:00 内容:「災害図上ゲーム」を学ぼう。 12月12日(土) 14:00~16:00 内容:「あいぽーと文化祭」報告会。

平成28年2月13日(土) 14:00~16:00

内容:「傾聴」について学ぼう。

●内容

ボランティアが楽しくなる情報を提供! 団体の活動に触れてみよう! 楽しく交流会

■団体運営セミナー

NPO活動を継続・発展していくうえで、様々な問題に直面している団体もあるのではないでしょうか。そういう時こそ、自分たちの団体の活動を振り返ってみませんか。

●日 時 平成27年10月21日(水)

18:00~20:30

●定員 30名

●参加費 無料

●対象者 NPO「団体運営」に関心のある方

■助成金セミナー

助成金についてセミナー開催します。

●日 時 平成27年11月28日(土)

13:00~15:30

●定員 30名

●参加費 無料

●対象者 「助成金」に興味のあるNPO団体

■NPO法人設立説明会

NPO法人設立を考えている任意団体や個人の方を対象に、法人設立の基礎的な知識や認証申請の際の書類作成について説明会をします。

● 日時 平成28年1月21日(木)

13:30~16:30 平成28年3月9日(水) 13:30~16:30



7月8日説明会開催風景

上記の開催場所は、「熊本市市民活動支援センター・あいぽーと」で開催されます。

【お申込み・お問い合わせ】

熊本市市民活動支援センター・あいぽーと TEL: 096-366-0168 FAX: 096-366-8830